USB-CAMCHAT 2
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

117869-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。。
15) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

付録 ……………… 37

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	USB-CAMCHAT2
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows Me/98	Windows Me, Windows 98の総称
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me/98の総称

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

USB ポートから抜いてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。

修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意

禁止

本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
●静電気の影響の強い場所

禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

静電気にご注意ください。

本製品のコネクタには触れないでください。コネクタに触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。また、本製品に触れる前に、スチールキャビネットなどの金属製の物に触れ、静電気を逃がしてください。

厳守

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

本製品を結露させたまま使わない。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

本製品を使用する設備にはご注意ください。

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。
これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

使用上のご注意

●ケーブルは、コネクタを持って取り外す

ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなく、コネクタを持って取り外してください。

●他のキャプチャ製品との併用をしない

弊社製GV-MPEG2S/PCI、GV-BCTVシリーズ、USB-MPGシリーズなど、他のキャプチャ製品との併用はできません。

●サウンドボリュームを上げすぎない

サウンドボリュームが大きすぎると、耳を痛めるおそれがあります。

電波障害自主規制について

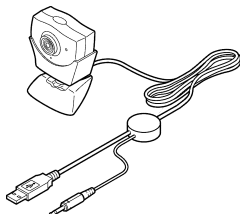
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

□ CMOSカメラ(1台)［USB-CAMCHAT2］

□ ヘッドセット(1個)

□ USB-CAMCHAT2サポートソフト(1枚)［CD-ROM］

・ドライバソフト
・VchatPersonal(体験版)※
・View Connect(mini)体験版※
・I-O DATA CAMCAP
・DirectX 8.1※
※弊社では、サポート致しかねます。予めご了承ください。

□ クリップ型カメラ台(1個)

□ マジックテープ[カメラ固定用](1個)

□ VchatPersonal(体験版)
・ご利用ガイド(1枚)
・ソフトウェア使用許諾契約書(1枚)

□ View Connect(mini)体験版
・ご利用ガイド(1枚)
・ソフトウェア使用許諾契約書(1枚)

☑ USB-CAMCHAT2取扱説明書(1冊)[本書]

□ ハードウェア保証書(1枚)

□ ハードウェアシリアルNo.シール(1枚)

□ ユーザー登録カード(1枚)

□ View Connect購入用振込用紙(2枚)

VchatPersonal(体験版)、View Connect(mini)体験版について
【VchatPersonal(体験版)について】(47ページ)、【View Connect(mini)体験版 について】(48ページ)をご覧ください。
ユーザー登録は済ませましたか?
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次のページに進みましょう!

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種	NEC PC98-NXシリーズ※1, DOS/Vマシン※1※2
対応OS （日本語版のみ）	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98(Second Editionを含む)
CPU	Intel Pentium 200MHz以上
メモリ	64Mバイト以上
ハードディスク	100Mバイト以上の空き容量
USBポート	USB 1.0/1.1に準拠したUSBポートが１つ必要
グラフィック アクセラレータ	DirectX 8.0以降で動作するボード
CD-ROMドライブ	ソフトウェアのインストールをする時に必要
サウンドボード	マイク端子のあるもの

※1　特殊な使い方（改造やオーバークロックなど）をしているパソコンの場合は、動作保証できません。

※2　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

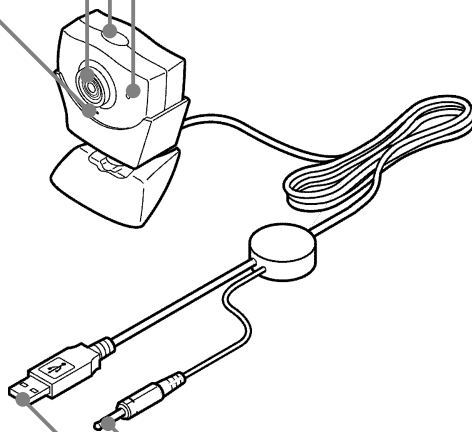
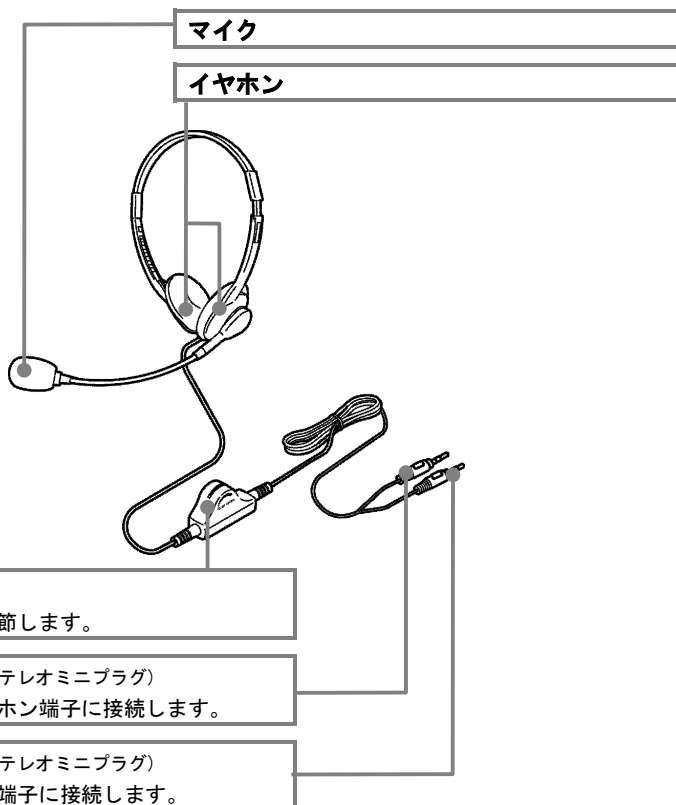
録画・再生時のコマ落ち

パソコンの性能によっては、録画・再生時にコマ落ちが発生する場合があります。

各部の名称・機能

コネクタなどの名前と機能を説明します。

CMOSカメラ

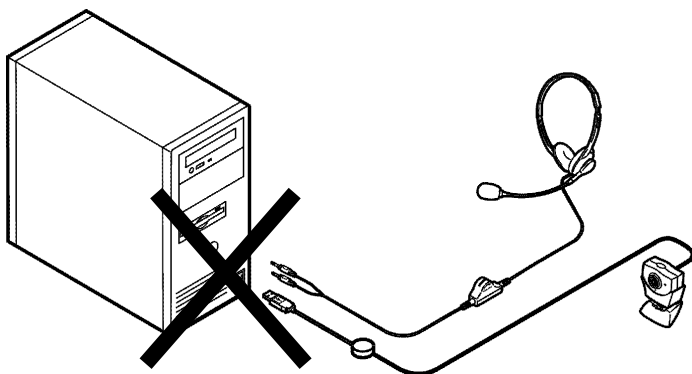
ヘッドセット

マイク
イヤホン
ボリューム
マイクの音量を調節します。
入力プラグ(3.5mmステレオミニプラグ)
パソコンのヘッドホン端子に接続します。
出力プラグ(3.5mmステレオミニプラグ)
パソコンのマイク端子に接続します。

使えるようにしよう

インストールしよう

本製品を使うためのソフトウェアを、インストールします。

まだ本製品を取り付けないでください

本製品は、ソフトウェアをインストールした後で取り付けます。

（【接続しよう】(12ページ)で取り付けます。）

インストールメニューを表示する

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

Windows XPとWindows 2000の場合
コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

2 USB-CAMCHAT2サポートソフトをCD-ROMドライブに入れます。

⇒「インストールメニュー」が表示されます。

ここをクリックすると
ヘルプが表示されます

インストールメニューが表示されなかった場合

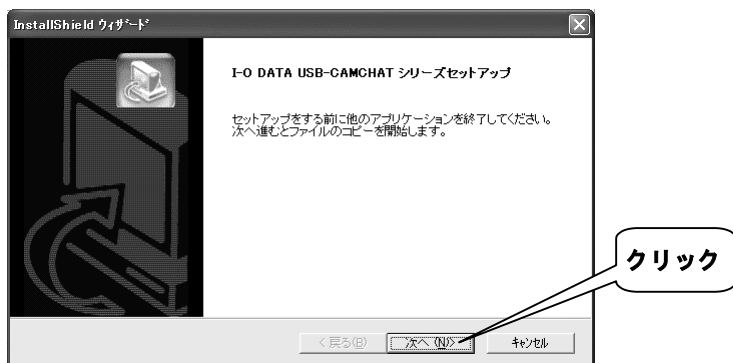
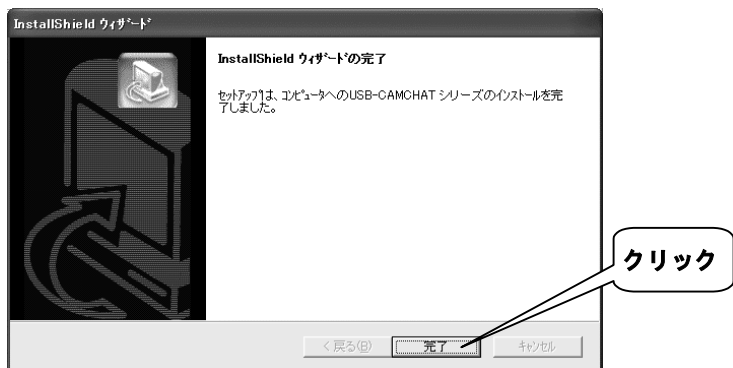
順にダブルクリック

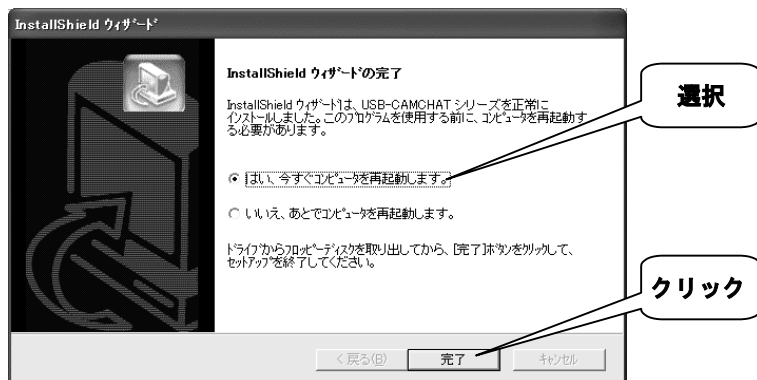
VchatPersonal（体験版）、View Connect（mini）体験版 について
【VchatPersonal(体験版)について】(47ページ)、【View Connect(mini)体験版　について】(48ページ)をご覧ください。

DirectX 8.1について
本製品を使うには、DirectX 8.0以降が必要です。
※Windows XPではインストール不要です。
DirectXについては、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

ドライバをインストールする

3　［USB-CAMCHATシリーズのセットアップ］をクリックします。

4　［次へ］ボタンをクリックします。

5　［完了］ボタンをクリックします。

6 USB-CAMCHAT2サポートソフトを取り出します。

7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]ボタンをクリックします。

インストール作業は完了しました。

接続しよう

本製品を取り付ける手順を説明します。

サウンドボリュームを上げすぎない

サウンドボリュームが大きすぎると、耳を痛めるおそれがあります。
お使いの環境に合わせて、最適なボリュームに設定してください。

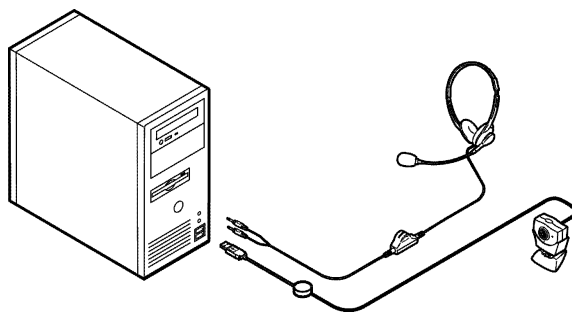
USBポート，ヘッドホン端子，マイク端子の場所について

パソコンまたはサウンドカードによって異なります。詳しくは、パソコンまたはサウンドカードの取扱説明書をご覧ください。

ヘッドセットの使用をおすすめします

カメラの内蔵マイクは、周りのノイズを拾いやすくなっています。
チャットなどをお楽しみいただく際は、ヘッドセットの使用をおすすめします。

ヘッドセットを使う場合

下の図のように接続します。

カメラの接続

USBコネクタ ⇒ USBポート
出力プラグ ⇒ 接続しない

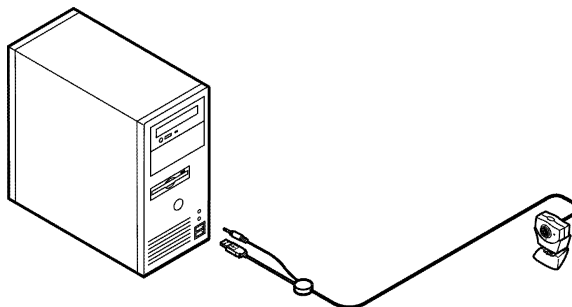
ヘッドセットの接続

入力プラグ ⇒ パソコンまたはサウンドカードのヘッドホン端子に接続します。
出力プラグ ⇒ パソコンまたはサウンドカードのマイク端子に接続します。

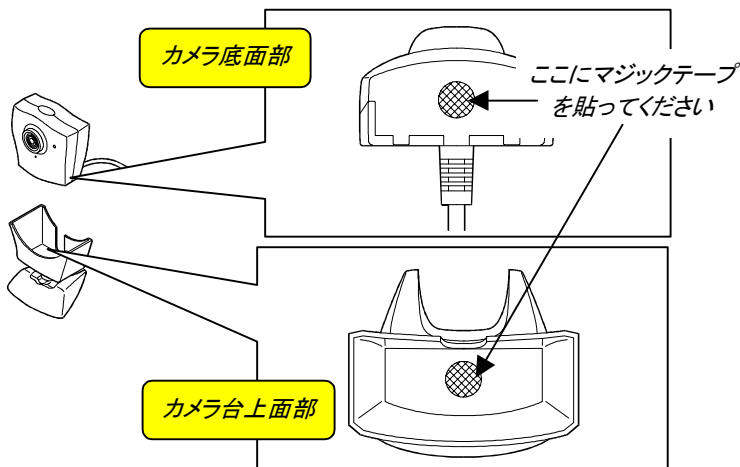
音声の出力について

ヘッドセットを接続している間、音声はヘッドセットのイヤホンに出力され、スピーカーから音声は出ません。ご注意ください。

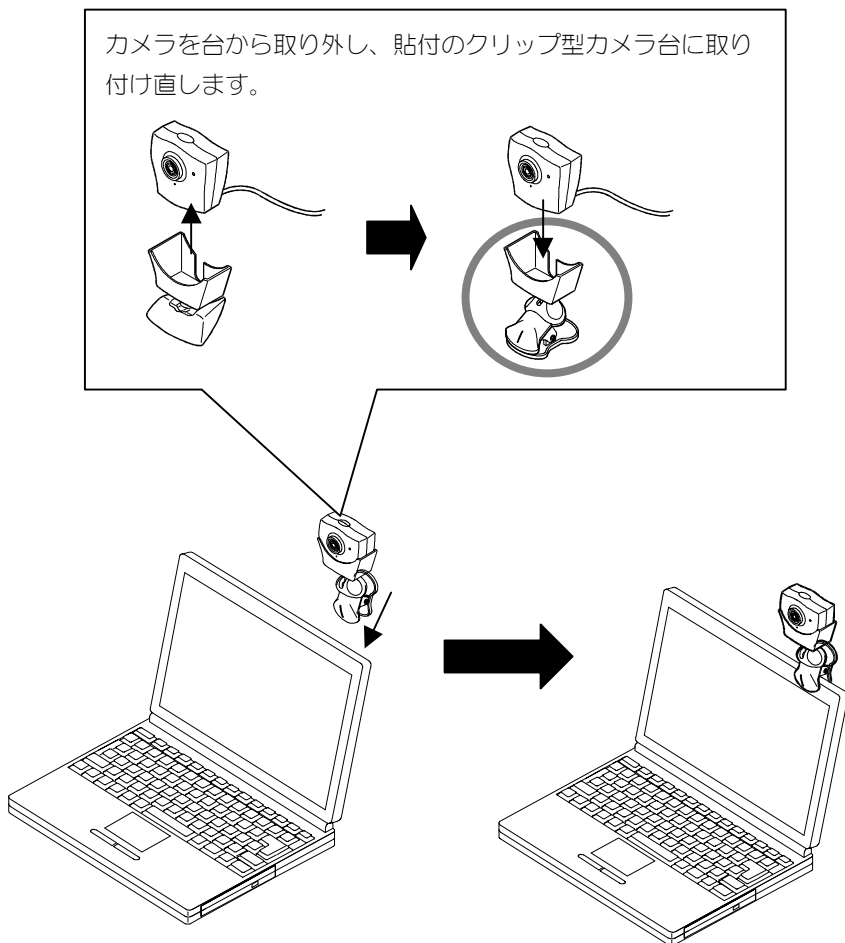
ヘッドセットを使わない場合

下の図のように接続します。

カメラの接続
USBコネクタ　⇒　USBポート
出力プラグ　⇒　パソコンまたはサウンドカードのマイク端子に接続します。

カメラを台に固定する

ノートパソコンなどでクリップ台をご使用になる際などでは、カメラがカメラ台から外れたり、落ちたりしないようにするために、貼付のマジックテープをお使いください。（カメラとカメラ台の両方に貼り付けてご使用ください。）

ノートパソコンに取り付ける場合

下の図のように接続します。

カメラを台から取り外し、貼付のクリップ型カメラ台に取り付け直します。

クリップを液晶パネルにはさまないでください

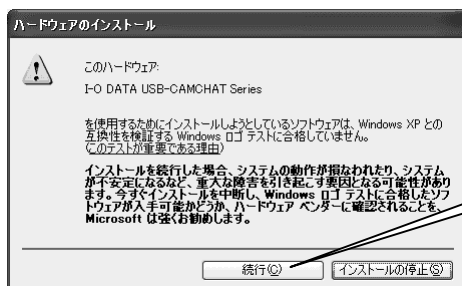
クリップを液晶パネルに直接はさむと液晶パネルの破損をまねく恐れがあります。取り付け場所には注意してください。

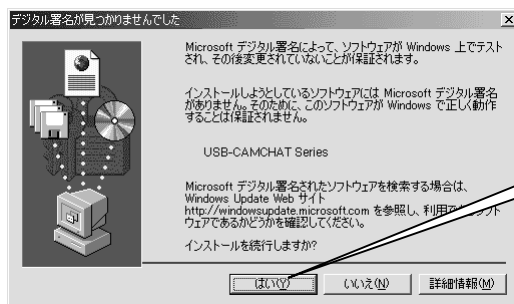
接続後のWindows起動

● Windowsを起動します。

Windowsによって、動作が異なります。

Windows XPの場合

［続行］ボタンをクリックします。

Windows 2000の場合

［はい］ボタンをクリックします。

これらの画面について

この画面は、マイクロソフト株式会社がWHQLという組織において実施している、パソコンや周辺機器などを対象にした認定手続きに関するものです。本製品は、現時点では認定を受けておりませんが、問題なくお使いいただけます。

接続後に何も画面が表示されない

【インストール後、本製品を接続しても何の画面も表示されない】(40ページ)をご覧ください。

Windows Me/98の場合

画面が表示され、Windowsが自動的に本製品を認識します。
しばらくすると本製品の認識が完了し、画面が消えます。

接続後に何も画面が表示されない

【インストール後、本製品を接続しても何の画面も表示されない】(40ページ)をご覧ください。

確認しよう

ここでは、本製品が使えるかどうかを確認します。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

Windows XPの場合

① ［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。
② ［システム情報を表示する］をクリックします。

Windows 2000/Me/98の場合

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」を開きます。

Windows XP/2000の場合

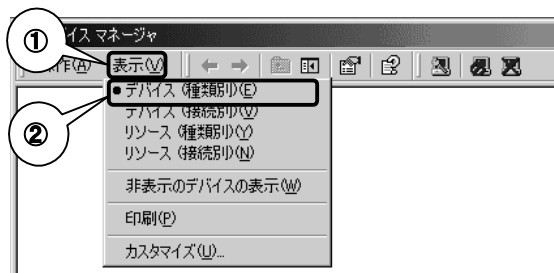
① ［ハードウェア］タブをクリックします。
② ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

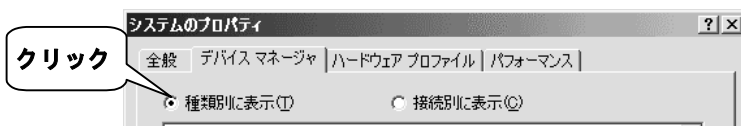
Windows Me/98の場合

［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

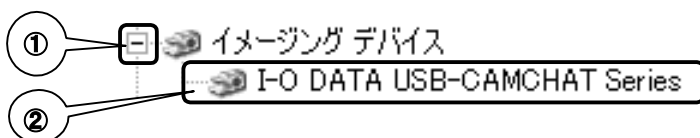
3 ［種類別］の表示にします。

Windows XP/2000の場合

［表示］→［デバイス（種類別）］を選択します。

Windows Me/98の場合

［種類別に表示］をクリックします。

4 確認します。

① ［イメージングデバイス］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。

② ［I-O DATA USB-CAMCHAT Series］があることを確認します。
これが、本製品のドライバです。

本製品のドライバに［!］が付いている

【本製品のドライバに［!］が付いている】(40ページ)をご覧ください。

本製品のドライバがない

【インストール後、本製品を接続しても何の画面も表示されない】(40ページ)をご覧ください。

5 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ☒ をクリックします。

基本操作について

ここでは、本製品の基本操作について説明します。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。
接続について、詳しくは【接続しよう】(12ページ)をご覧ください。

本製品を取り外す

1 カメラを使うソフトウェアを全て終了します。

操作は、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

ビデオチャットしよう

チャットについて

チャットについて説明します。

チャットって何？

「チャット」は、インターネットやパソコン通信にアクセスしているユーザー同士が画面上で文字を使ってリアルタイムにおしゃべりをする機能のことです。

チャットには、下記のような特長があります。

・世界中の人とリアルタイムにおしゃべりができる
インターネットに接続すれば、世界中のインターネットに接続している人とリアルタイムにおしゃべりを楽しめます。
また、インターネットへの接続に定額サービスなどをお使いの場合は、電話代を気にせずにおしゃべりを楽しめます。

・複数人数でおしゃべりできる
電話で複数の人と会話するには、特別なサービスを使う必要があります。
チャットでは、簡単に複数の人と同時におしゃべりを楽しむことができます。

・「ビデオチャット」を楽しめる
普通の電話では、お互いの顔を見ながら会話することができません。
ビデオチャットなら、親しい友人や、遠距離恋愛中のあの人とまるで会っているかのようにおしゃべりを楽しめます。
また、音声が利用できるサービスならTV電話のように、マイクを使っておしゃべりが楽しめます。

チャットソフトについて

チャットソフトには、MicrosoftのWindows MessengerやNetMeetingなど多くの種類があります。
次ページ以降では、Windows MessengerやNetMeetingで本製品を使う方法について説明しています。
また、本製品には、VchatPersonal（体験版）が添付されています。
こちらもお試しください。

VchatPersonal（体験版）について

【VchatPersonal（体験版）について】（47ページ）をご覧ください。

Windows Messenger, NetMeetingを使う

Windows MessengerやNetMeetingを使う方法について説明します。

ここで説明すること

本製品とカメラを接続することにより、Windows MessengerやNetMeetingで映像を扱うことができます。

※ ここでは、Windows MessengerやNetMeetingで映像を扱うための設定についてのみ説明します。Windows MessengerやNetMeetingの操作方法については、それぞれのヘルプをご覧ください。

使うソフトウェア	
Windows Messengerで映像を扱う	次ページ
NetMeetingで映像を扱う	28ページ

Windows Messengerについて

Windows XPに標準で添付されているチャットソフトです。

NetMeetingについて

Windows 2000/Me/98に標準で添付されているチャットソフトです。

ルータとWindows Messengerについて

ルータが「ユニバーサルプラグアンドプレイ」に対応していない場合、ビデオチャットなどの一部機能はお使いいただけません。
ルータに接続したパソコンをお使いの場合は、ご注意ください。
「ユニバーサルプラグアンドプレイ」の対応については、各ルータのメーカーにお問い合わせください。

ルータとNetMeetingについて

ルータが「NetMeeting対応」でない場合、お使いいただけません。
ルータに接続したパソコンをお使いの場合は、ご注意ください。
「NetMeeting対応」については、各ルータのメーカーにお問い合わせください。

ユニバーサルプラグアンドプレイ(Universal Plug and Play：UPnP)

ネットワークに接続されたデバイスのPlug and Playを行なう技術。
Windows XPからは、対応ルータから情報を取得したり、必要に応じてルータの設定を変更したりといったことが可能になる。
それにより、メッセージングソフトやネットークゲームを使用する際に、アプリケーションが自動的にルータをセットアップするといったことが実現できる。

Windows Messengerで映像を扱う

1 Windows Messengerを起動します。

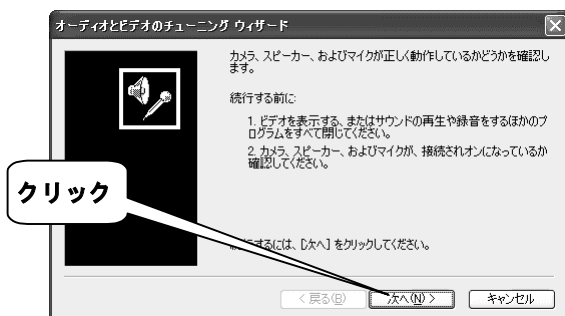
Windows Messengerでメッセージを送ることができる状態にしておいてください。

2 「オーディオとビデオのチューニングウィザード」を起動します。

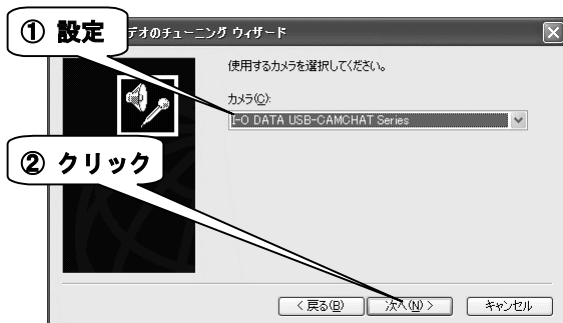
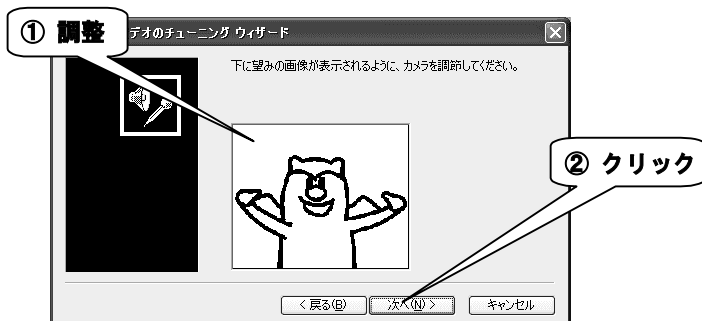
［ツール］→［オーディオとビデオのチューニングウィザード］の順にクリックします。

⇒「オーディオとビデオのチューニングウィザード」が起動します。

3 カメラ、ヘッドセットを接続します。

4 ［次へ］ボタンをクリックします。

5 ［I-O DATA USB-CAMCHAT Series］に設定します。

① 「カメラ」を［I-O DATA USB-CAMCHAT Series］に設定します。

② ［次へ］ボタンをクリックします。

6 カメラの映像を調整し、［次へ］ボタンをクリックします。

カメラの映像が表示されない

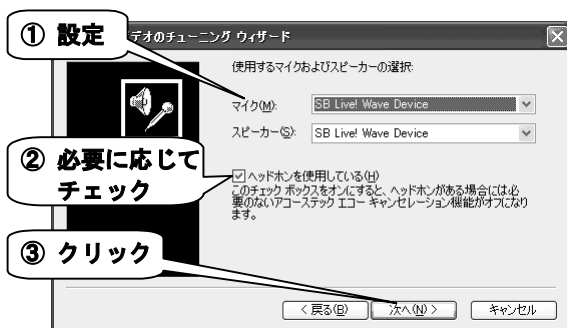
【カメラが正しく動作しない】(41ページ)をご覧ください。

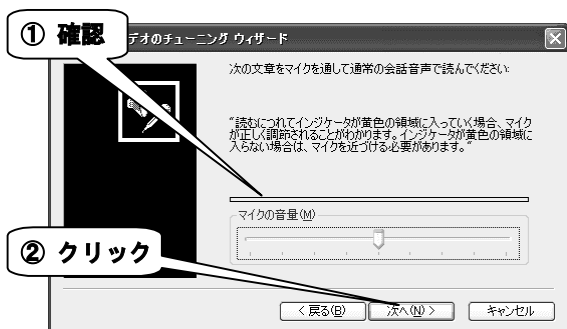
7 ［次へ］ボタンをクリックします。

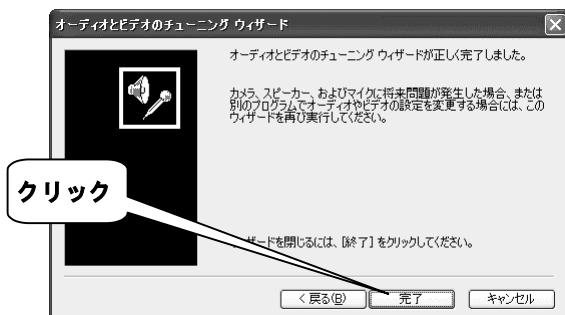
8 マイクとスピーカーの設定をします。

① マイクとスピーカーを接続しているサウンドカードに合わせて設定します。

② ヘッドセットを使う場合は、［ヘッドホンを使用している］にチェックを付けます。

③ ［次へ］ボタンをクリックします。

9 マイクの設定をし、［次へ］ボタンをクリックします。

インジケータが黄色になることを確認した後で、［次へ］ボタンをクリックします。

10 ［完了］ボタンをクリックします。

⇒「オーディオとビデオのチューニングウィザード」が終了します。

これで、Windows Messengerの設定は完了です。
Windows Messengerの操作方法については、Windows Messengerのヘルプをご覧ください。

NetMeetingで映像を扱う

1 NetMeetingを起動します。

2 カメラ、ヘッドセットを接続します。

3 「オプション」を起動します。

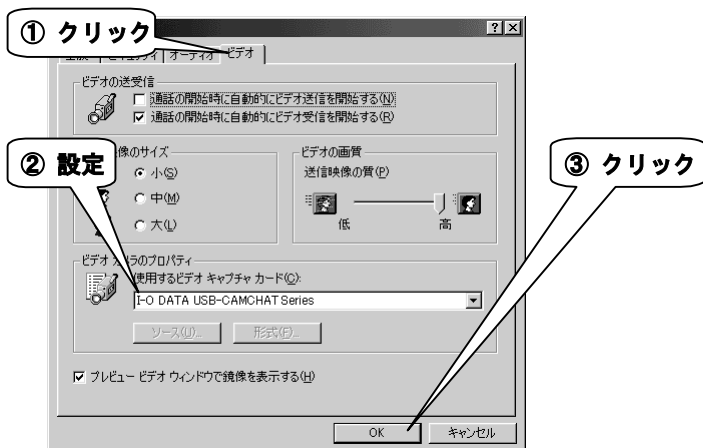
［ツール］→［オプション］の順にクリックします。

⇒「オプション」が起動します。

4 「使用するビデオキャプチャカード」を設定します。

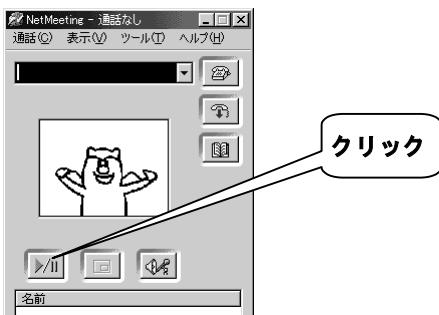
① ［ビデオ］タブをクリックします。

② 「使用するビデオキャプチャカード」を［I-O DATA USB-CAMCHAT Series］に設定します。

③ ［OK］ボタンをクリックします。

他のビデオ設定について

他のビデオ設定も環境に応じて設定してください。
詳しくはNetMeetingのヘルプをご参照ください。

5 ▶/II ボタンをクリックします。

⇒カメラの映像が表示されます。

カメラの映像が表示されない

【カメラが正しく動作しない】(41ページ)をご覧ください。

これで、NetMeetingの設定は完了です。
NetMeetingの操作方法については、NetMeetingのヘルプをご覧ください。

撮影しよう

動画を撮る

本製品のカメラで動画を撮る方法について説明します。

本製品には、動画キャプチャソフトとして［I-O DATA CAMCAP］を同梱しておりますが、ここでは、Windows XP/Meに標準で添付されている「Windowsムービーメーカー」を使って動画を撮る方法について説明します。

［I-O DATA CAMCAP］について
使用方法については、ソフトウェアのオンラインヘルプをご参照ください。

1 カメラを接続します。

2 「Windowsムービーメーカー」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［Windowsムービーメーカー］の順にクリックします。

3 「録画/録音」画面を起動します。

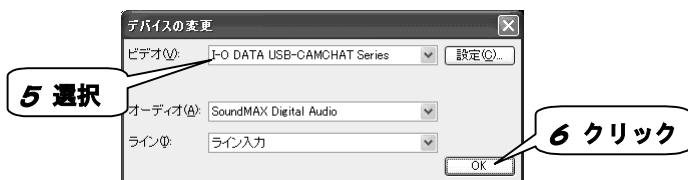
［ファイル］→［録画・録音］の順にクリックします。
⇒「録画/録音」画面が起動します。

4 「デバイスの変更」画面を起動します。

［デバイスの変更］ボタンをクリックします。
⇒「デバイスの変更」画面が起動します。

5 カメラを選びます。

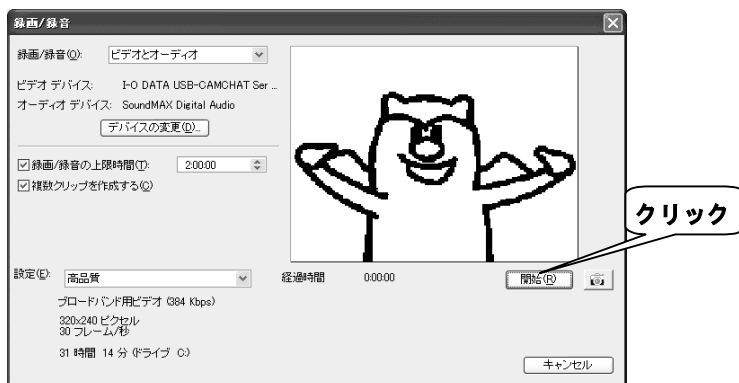
「ビデオ」に［I-O DATA USB-CAMCHAT Series］を選びます。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

録画設定について

［設定］ボタンをクリックすると、録画設定を行えます。設定の詳細は、インストールメニュー(8ページ参照)よりヘルプを起動してご覧ください。

7 ［開始］ボタンをクリックします。

⇒録画が始まります。

［開始］ボタンが、［停止］ボタンに変わります。

8 録画を終わるときは、［停止］ボタンをクリックします。

⇒録画が終わります。

動画を保存するための画面が表示されます。

9 動画に名前を付け、［保存］ボタンをクリックします。

⇒動画が保存されます。

撮った動画の再生について

Windowsに添付されている、Windowsメディアプレーヤーなどをお使いください。

静止画を撮る

本製品のカメラで静止画を撮る方法について説明します。

本製品には、静止画キャプチャソフトを同梱しておりません。
静止画を撮るには、市販の静止画キャプチャソフトをお使いください。
ここでは、Windowsに標準で添付されている「イメージング」を使って静止画を撮る方法について説明します。

1 カメラを接続します。

2 「イメージング」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［イメージング］の順にクリックします。

イメージングがない場合

① ［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］の順にクリックします。
⇒「コントロールパネル」が起動します。

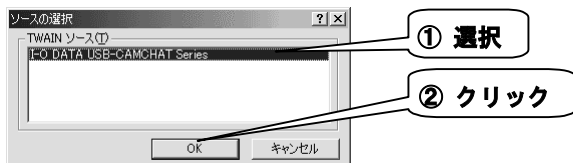
② ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。
⇒「アプリケーションの追加と削除」が起動します。

③ ［Windowsコンポーネントの追加と削除］をクリックし、［イメージング］を追加します。

3 「ソースの選択」画面を起動します。

［ファイル］→［デバイスの選択］の順にクリックします。
⇒「ソースの選択」画面が起動します。

4 カメラを選びます。

［I-O DATA USB-CAMCHAT Series］を選び、［OK］ボタンをクリックします。

5 イメージ取得画面を起動します。

［ファイル］→［イメージの取得］の順にクリックします。

⇒イメージ取得画面が起動します。撮っている映像が表示されます。

6 カメラのスナップショットボタンを押します。

⇒静止画が撮られ、画面上の「サムネイル」に表示されます。

スナップショットボタンを連続で押せないことがあります

お使いのパソコンの環境によっては、連続でスナップショットボタンを押した場合に、2度目以降のボタンが機能するまで若干の時間がかかる場合があります。

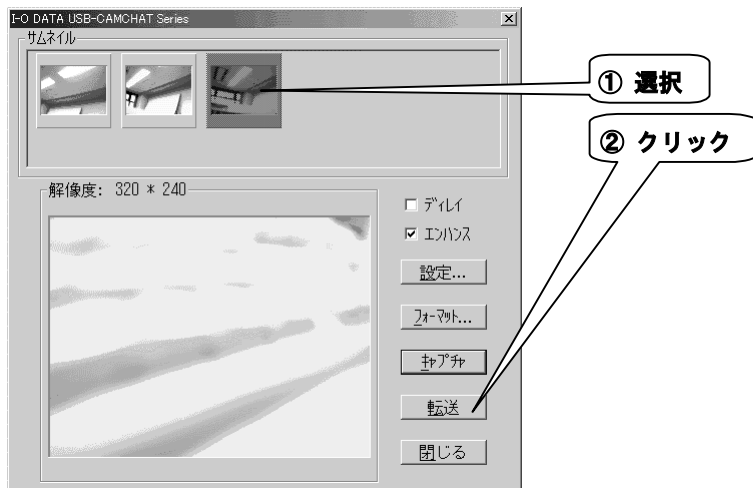
スナップショットボタンを使えないことがあります

お使いの環境によっては、スナップショットボタンを使えないことがあります。その場合、静止画キャプチャソフト側の操作を行ってください。

※ この作業では、［キャプチャ］ボタンをクリックします。

7 気に入った静止画を撮れたら、イメージングに転送します。

気に入った静止画を選択し、［転送］ボタンをクリックします。

⇒選択した静止画がイメージングに転送されます。

8 転送した静止画を保存します。

［ファイル］→［名前を付けて保存］の順にクリックします。

⇒保存のための画面が表示されますので、ファイル名を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

これで、静止画は保存されました。

付録

困った時には

本製品を使っていて異常があったときにご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
Newsその他

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

セットアップ時のトラブル

使用時のトラブル

セットアップ時のトラブル

サポートソフトのインストールができない

原因１　先にカメラを接続した

USB-CAMCHAT2サポートソフトをインストールする前に、カメラを接続すると、インストールできない場合があります。
必ず、カメラを接続する前にインストールを行ってください。
インストール前にカメラを接続してしまった場合は、【インストール後、本製品を接続しても何の画面も表示されない】(次ページ)の原因２をご覧ください。

原因２　コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしていない

Windows XP/2000でUSB-CAMCHAT2サポートソフトをインストールする場合は、コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

PC98-NXシリーズをお使いで「デバイスマネージャ」タブが表示されない

原因　［デバイスマネージャ］タブが表示されない設定になっている

1　「Cyber Trio-NXセットアップ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］(［NXユーティリティ］,［NXの設定］)→［Cyber Trio-NXセットアップ］を起動します。

2　「アドバンスドモード」にします。

「アドバンスドモード」にチェックし、［OK］ボタンをクリックします。

3　Windowsを再起動します。

自動で再起動されます。

インストール後、本製品を接続しても何の画面も表示されない

原因１　取り付けに問題がある

【接続しよう】（12ページ）をご覧になり、本製品の取り付けをご確認ください。

原因２　本製品が誤認識されているか、何らかのキャプチャデバイスが登録されている

【確認しよう】（17ページ）を参考に、［その他のデバイス］の下をご覧ください。
そこに［PC Camera］がある場合は、［Del］キーで削除した上で、Windowsを再起動してください。

これらの作業を行っても改善されない場合
弊社サポートセンターにお問い合わせください。その際は、【確認しよう】（17ページ）を参考に、［イメージングデバイス］や［その他のデバイス］の下に表示される内容をお知らせください。

本製品のドライバに［!］が付いている

原因　本製品が誤認識されている

【サポートソフトの削除】（46ページ）の作業を行います。
その後、【インストールしよう】（8ページ）から作業を行ってください。

使用時のトラブル

カメラが正しく動作しない

原因１　使うデバイスとして、カメラが選ばれていない

お使いのアプリケーションで、使うデバイスに本製品のカメラ［I-O DATA USB-CAMCHAT Series］を選んでください。
使うデバイスを選ぶ方法については、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせください。

原因２　カメラが正常に認識されていない

まず、【確認しよう】（17ページ）をご覧になり、本製品の状態を確認してください。
問題ない場合は、下記の作業を行ってください。

1　カメラを接続します。

【接続しよう】（12ページ）をご覧になり、本製品を接続します。

2　「I-O DATA CAMCAP」を起動します。

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA CAMCAP］→［CAMCAP］の順にクリックします。
⇒「I-O DATA CAMCAP」が起動します。

3　画面を確認します。

［オプション］→［プレビュー］にチェックを入れます。
その上で、カメラの画像が表示されれば、本製品は問題ありません。
お使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせください。

色調がおかしい

原因　Windowsの色数設定が少ない

① ［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］の順にクリックします。
② ［画面］アイコンをダブルクリックします。
⇒「画面のプロパティ」が起動します。
③ 画面の色数をハイカラー以上に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

カメラに内蔵されているマイクを使うと、大きな音が鳴る

原因　ハウリング（共鳴）を起こしている

カメラとスピーカーの位置を調整し、ハウリングが起こらないようにしてください。
または、添付のヘッドセットをお使いください。

マイクが正しく動作しない（音が入らない）

原因1 マイクが正しく接続されていない

【接続しよう】(12ページ)をご覧になり、本製品の取り付けをご確認ください。

原因2 マイクの音量が小さくなっている

1 右下のタスクトレイの中にあるをダブルクリックします。

⇒「ボリュームコントロール」が起動します。

がない場合

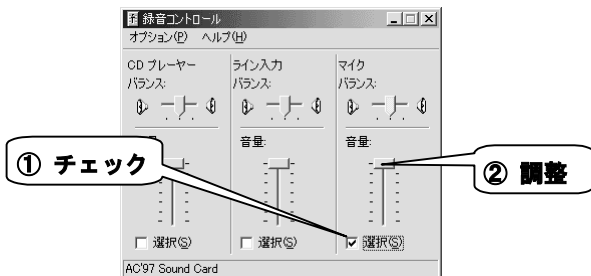
① ［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］の順にクリックします。
② ［サウンドとマルチメディア（オーディオデバイス）］アイコンをダブルクリックします。
③ ［サウンド（音量）］タブをクリックし、［タスクバーにボリュームコントロール（音量アイコン）を配置する］にチェックを付けます。

2 ［オプション］→［プロパティ］の順にクリックします。

3 「マイク」のコントロールを表示させます。

① 「音量の調整」を［録音］にします。
② 「表示するコントロール」で［マイク］にチェックを付けます。
③ ［OK］ボタンをクリックします。

4 「マイク」を選択し、音量を調整します。

マイクの［選択］にチェックを付け、マイクの音量を上げます。

相手の声が聞こえない

原因1 スピーカーが正しく接続されていない

スピーカーの取扱説明書をご覧になり、正しく接続してください。

原因2 WAVEの音量が小さくなっている

1 右下のタスクトレイの中にある をダブルクリックします。

⇒「ボリュームコントロール」が起動します。

がない場合

① ［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］の順にクリックします。

② ［サウンドとマルチメディア（オーディオデバイス）］アイコンをダブルクリックします。

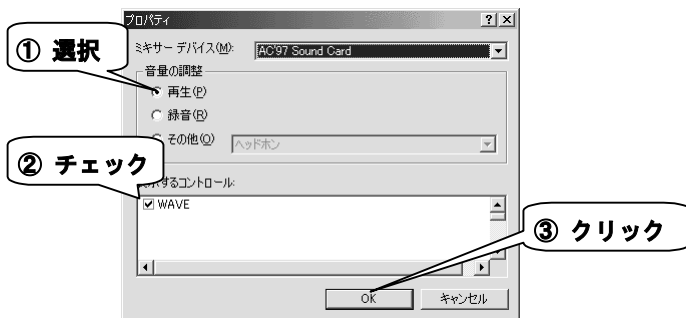
③ ［サウンド（音量）］タブをクリックし、［タスクバーにボリュームコントロール（音量アイコン）を配置する］にチェックを付けます。

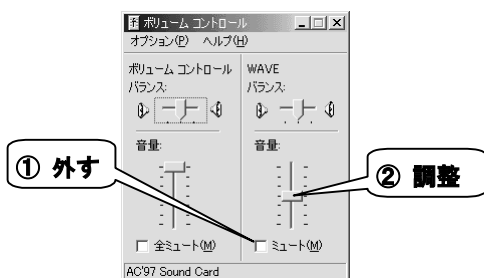
2 ［オプション］→［プロパティ］の順にクリックします。

3 「WAVE」のコントロールを表示させます。

① 「音量の調整」を［再生］にします。

② 「表示するコントロール」で［WAVE］にチェックを付けます。

③ ［OK］ボタンをクリックします。

4 「WAVE」を選択し、音量を調整します。

WAVEの［ミュート］のチェックを外し、WAVEの音量を上げます。

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

> **Windows XPとWindows 2000の場合**
> コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

2 本製品が接続されていたら、取り外します。

3 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を開きます。

① ［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］の順にクリックします。
⇒「コントロールパネル」が開きます。

② ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

4 「I-O DATA USB-CAMCHAT Series」を削除します。

［I-O DATA USB-CAMCHAT Series］を選択し、［追加と削除］ボタンをクリックします。

5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒アンインストールが開始されます。

6 ［閉じる］ボタンをクリックします。

サポートソフトは削除されました。

VchatPersonal（体験版）について

VchatPersonalとは、映像・音声を使ったコミュニケーションを最大10人まで同時に行える、ジャパンメディアシステム株式会社のツールです。

VchatPersonal（体験版）について

ブロードバンド回線（ADSL以上）での接続環境が推奨されています。
VchatPersonal（体験版）についての詳細は、VchatPersonal（体験版）ご利用ガイドをご覧ください。

VchatPersonal（体験版）に関するお問い合わせ

VchatPersonal（体験版）は、サービス品です。
弊社では、サポートいたしておりません。
VchatPersonal（体験版）についてのお問い合わせは、VchatPersonal（体験版）ご利用ガイドに記載されている所にお願いいたします。

ファイアウォールなどをお使いの方へ

VchatPersonal（体験版）は、2000番，2001番，4000番のTCP/UDPポートを使用しています。

View Connect(mini)体験版　について

View Connect（mini）とは、離れた場所を携帯電話でモニタリングできる株式会社レブルシステムズのツールです。

View Connect(mini)体験版について

ブロードバンド回線（ADSL以上）での接続環境が推奨されています。
View Connect(mini)体験版についての詳細は、View Connect(mini)ご利用ガイドをご覧ください。

対応している携帯電話サービスと画像フォーマット

i-mode(GIF), J-SKY(JPEG), EZ-web(JPEG)

View Connect(mini)体験版に関するお問い合わせ

View Connect(mini)体験版は、サービス品です。
弊社では、サポートいたしておりません。
View Connect(mini)体験版についてのお問い合わせは、View Connect(mini)ご利用ガイドに記載されている所にお願いいたします。

ファイアウォールなどをお使いの方へ

View Connect(mini)体験版を、ファイヤウォールを設定しているオフィスなどで使用される場合は、プロキシサーバのOUTバウンド「11234、11235、11236、11237」を開放してください。

I-O DATA CAMCAPについて

I-O DATA CAMCAPとは、動画を簡単・手軽にキャプチャできるツールです。
【インストールしよう】(8ページ)で［USB-CAMCHAT］をインストールすれば、同時にインストールされます。

●起動方法

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA CAMCAP］→［CAMCAP］を順にクリックすれば起動できます。

●使い方

詳細は、［I-O DATA CAMCAP］のオンラインヘルプをご覧ください。
※［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA CAMCAP］→［オンラインヘルプ］を順にクリックすればオンラインヘルプをご覧になれます。

ハードウェア仕様

CMOSカメラ

カメラ部	撮像素子	1/3インチ カラーCMOSイメージセンサー
	有効画素数	30万画素
	フレームサイズ	最大640×480
	フレームレート※	30fps(CIF)、12fps(VGA)
	ビデオフォーマット	RGB24bit, YUV420
	輪郭補正	水平、垂直
	最低被写体照度	28Lux (F2.4)
	感度調整機能	自動
	ホワイトバランス	自動
	レンズ焦点距離	f=7.2mm,F=2.4
	レンズ画角	60度(水平)
	レンズ焦点	10cm～∞
	準拠規格	USB 1.0/1.1
	USB帯域幅	30% - 76%(5段階で設定可能)
	コネクタ	Ａプラグ
マイク部	マイクロフォン	コンデンサーマイク
	音圧感度	-44dB±3dB
	入力周波数帯域	100-10000Hz
	出力プラグ	3.5mmステレオ・ミニ・プラグ
	ケーブル長	1.5m
	使用温度範囲	0℃～+40℃
	使用湿度範囲	20～80%(結露しないこと)
	電源電圧	DC5.0V (USBポートより供給)
	消費電流	80mA(MAX)
	サイズ	カメラ本体のみ 59(W) × 59(H) × 40(D) mm カメラ台を含む 90(W) × 65(H) × 65(D) mm
	質量	カメラ本体のみ 約120g カメラ台（スタンドタイプ）を含む 約170g

※ 動作環境によりこの値が出ない場合があります。

ヘッドセット

スピーカー部	スピーカー	30mmダイナミックタイプ
	インピーダンス	32Ω
	出力音圧レベル	101dB±4dB
	再生周波数帯域	100～15000Hz
	定格入力	100mW
	入力プラグ	3.5mmステレオ・ミニ・プラグ
マイク部	マイクロフォン	コンデンサーマイク
	音圧感度	-62dB±3dB
	入力周波数帯域	50～16000Hz
	出力プラグ	3.5mmステレオ・ミニ・プラグ
	質量	約80g
	コード	1.8m

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで受け付けています。

次に、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q＆A
Newsその他

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3646　東京…03-3254-1036
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
　①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
　②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
　　（前ページ【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
　修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
　その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
　・保証期間中は、無料修理いたします。
　　ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
　　　※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
　・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
　　　※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
　・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
　　修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
　　（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
　　修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・以下の内容を書いたもの
返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください
・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
・修理は以下の送付先までお送りください。
※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

Vchatについてのお問い合わせ

❓ サービス内容・ソフトの料金、ライセンスキー・Vchat Personalの利用登録や月額利用料に関して

➡ Vchat問い合わせ窓口（平日9:00〜18:00）

E-Mail：service@vchat.jp

※ メールでの対応のみになります。

❓ インストールなどのトラブルに関して

➡ Vchatサポートセンター（24時間365日）

TEL　　：03-3298-7082

E-Mail：support@vchat.jp

View Connectについてのお問い合わせ

E-Mail：info@revolsystems.com

※ メールでの対応のみになります。